

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0272300526		
法人名	社会福祉法人緑風会		
事業所名	グループホーム太陽の家		
所在地 (電話番号)	〒036-0141 青森県平川市沖館向野91-1 (電話) 0172-43-0080		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月23日	評価確定日	平成21年12月25日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 10月 16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.15人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,500 円	その他の経費(月額)	6,000~7,500 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(9月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護1		名	要介護2	3	名
要介護3	1	名	要介護4	5	名
要介護5		名	要支援2		名
年齢	平均 85.5 歳	最低	73 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	阿部医院、下田クリニック
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は国道から少し奥に入った田畑に囲まれた中にあるので、季節感を感じながら安全に散歩などを楽しむことができる。また、市街地も近くなので買い物などにも便利な場所に位置している。運営者は法人内での研修会の開催ほか、職員が外部研修にも参加できるよう積極的な支援を行って有資格者も多い。職員は地域行事や法人の行事への参加をはじめ、敷地内にあるデイサービスセンター利用者等との行き来を積極的に支援するなどして、利用者が地域の一員としての暮らしを続けられるよう取り組んでいる。また、日々のケアにあたっては言葉がけや接し方、介助のタイミングや程度に配慮するなどして、一人ひとりの生活意欲の引き出しや日々の暮らしにおける達成感を大切に支援を行っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年度の外部評価において取り組みを期待されていた意見箱の設置とホーム独自の便りの発行については、職員で話し合ったうえで、実施している。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価に当たっては事前に全職員に資料を配布し、それぞれの意見を持ち寄って、さらなるサービスの質の引き上げを行っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議を活かすため、全家族へ開催案内を送付している。ホームからは評価結果や事故報告などが報告され、参加者からはホームへの要望や質問等が寄せられている。また、そこでの要望や提案は、日々のサービスの向上に活かされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11) 家族等が気軽に意見や要望を伝えやすいような雰囲気作りに配慮しているほか、運営推進会議の開催案内を活用したり、意見箱を設置するなどして意見の継続的な引き出しを行っている。また、出された意見等は真摯に受け止め、日々のケアに活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に入会し、宵宮やねぶた祭りなどの地域行事に参加したり幼稚園等のボランティアを受け入れるなどして、地域との交流を積極的に図っている。また、運営推進会議を通じての地域住民との意見交換や法人が主催する認知症ケア普及活動にスタッフの一員として参加するなどして、地域の認知症普及活動にも取り組んでいる。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	毎年、全職員で見直しの機会を設け、必要に応じ手直しするなどして、地域密着サービスとしての理念を踏まえた、具体的で分かりやすい理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有し、生活の継続性を大切にしながら安心して過ごせるよう、日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会に入会し、宵宮やねぶた祭りなどの地域行事に参加したり、幼稚園等のボランティアを受け入れるなどして、地域との交流を積極的に図っている。また、運営推進会議を通じての地域住民との意見交換や法人が主催する認知症ケア普及活動にスタッフの一員として参加するなどして、地域の認知症普及活動にも取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価に当たっては事前に全職員に資料を配布し、それぞれの意見を持ち寄ってさらなるサービスの引き上げを行っている。また、昨年度の外部評価において取り組みを期待されていた意見箱の設置とホーム独自の便りの発行については、職員で話し合ったうえで、実施している。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を活かすため、全家族へ開催案内を送付している。ホームからは評価結果や事故報告などが会議で報告され、参加者からはホームへの要望や質問等が寄せられている。また、そこでの要望や提案は、日々のサービス向上に活かされている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議等を通じて運営や現場の実情等を伝えるなど、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員会議や研修を通じて理解を深めながら、制度を利用している利用者を支援している。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	公的機関のパンフレット、職員会議、勉強会などを通じて理解の浸透を図り、虐待が見過ごされることがないようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用前に本人、家族に丁寧に説明し、不安な点や疑問点がないか確認するなどして、理解と納得を図っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>暮らしぶりについては面会時のほか毎月発行のホーム便り、3ヶ月毎の法人の季刊誌等で報告している。また、健康状態については通院前後や状態に変化がある都度、金銭については領収書を添付する等して詳細に報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等が気軽に意見や要望を伝えやすいような雰囲気作りに配慮しているほか、運営推進会議の開催案内に明記したり意見箱を設置するなどして、意見の継続的な引き出しを行っている。また、出された意見等は真摯に受け止め、日々のケアに活かしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は、馴染みの職員による支援を受けられるよう、職員のスキルアップのための異動以外は行っていない。また、やむを得ない離職や新しい職員の配置の際は、引継ぎを十分に行ったり、職員が関係を取り持つなどして、新たな職員と早期に馴染めるように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は法人内で研修会を開催するほか、職員が外部研修にも参加できるよう積極的な支援を行っており、有資格者も多い。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月開催される地域のグループホームによる会議などを通して交流の機会を設けている。また、それらの活動によって得られた情報や気づきを、サービスの質の向上に活かしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に本人と面接し、納得した上で利用している。また、利用直後の不安な心理面に配慮し、家族に面会をお願いしたり、職員や他の利用者と一緒に併設施設の大ホールで訪問を楽しむなどして、徐々に新たな環境に馴染めるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を人生の先輩として接し、一人ひとりの心身の状況や活動能力に配慮し、それぞれの状態のできることを生活の各場面で引き出し、暮らしに活かし、共に支え合って暮らしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や家族からの情報をもとに、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。また、把握が困難な利用者については、職員で話し合っ把握に努めているが、検討材料である情報の把握については、職員間でばらつきがある。		点在している記録を整理するなどして、利用者の思いや意向に変化はないか、聴取漏れはないか等、関係者間で定期的に確認し合い、共有する取り組みを期待したい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用時に本人、家族、居宅の担当ケアマネ、看護師等の関係者が話し合うなどして、利用者本位の介護計画が作成されている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月の見直しのほか、利用者の状態等に変化があればその都度関係者と話し合い、必要な追加、変更を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院への受診、外出、外泊等の支援のほか、医療連携体制を活かして、健康管理面での支援体制の充実を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれのかかりつけ医、毎週訪れる嘱託医等、本人や家族が希望する医師による医療が受けられるよう支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームから説明していた重度化や終末期に向けた方針を、今年度、重要事項説明書に具体的に文書で明記しているが、その具体的内容は全職員に周知されていない。		文書化を機会に、重度化や終末期のあり方についての家族の気持ちや本人の思いに変化はないか等、点検、整理するなどして、全ての関係者が現状を確認できるようにするための取り組みに期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーや個人情報に関する取り扱いを掲示したり、職員会議等で確認し合うなどして、徹底している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は一人ひとりのペースを把握しており、その方に合わせた支援を行っている。また、すぐに実行できない内容などについては、本人と話し合って時間や日程を調整するなどしながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事準備や後片付けを一緒に行う、食べたいものがあれば一緒に近くのスーパーに買出しに行く、職員も一緒に同じテーブルで食事を食べる、希望食や食事会を定期的開催するなどして、多彩な取り組みを行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の希望に応じて入浴日や入浴時間を決めてくれるほか、温泉浴や足浴を取り入れるなどして、入浴を楽しめるよう支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者は、畑作業や献立表書きなど、それぞれが役割を持って生活している。また、活動能力に衰えがみられるようになった方に対しては、これまでの経験を活かせる場面がきたら意見を聞くなどして、各々が得意とする場面で残存能力を活用できるよう支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は、希望に応じて毎日散歩に出かけているほか、買い物やドライブ等、これまでの個々の習慣を大切に支援もしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議等で、資料をもとに身体拘束となる具体的な事例について確認し合うなどして、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中帯は施錠していない。外出が好きな利用者については台所から共有スペースを見渡せるという作りを活かし、さり気なく見守り、一緒に出かけるなどの工夫をして、鍵をかけないケアを実践している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームを取り巻く環境上、必要となる夜間を想定した総合訓練と地震訓練を実施している。また、訓練に際しては、地域の消防団や地域住民の協力も得られているほか、災害に備え、必要となる水や食料等も備蓄している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事状況を観察し、摂取量が確保されていない時は、看護師や栄養士と相談し、その時々の本人の状態に合わせて形態を変えるなど工夫して、必要な栄養等が摂取できるように支援している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	各種の必要なマニュアルを整備し、インフルエンザの予防接種、玄関への消毒器の設置など、マニュアルに基づいての感染症予防を行っている。また、マニュアルには最新情報が付け加えられ、その内容を全職員に周知し、共有している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングには手作り品や季節の物を飾り、生活感や季節感を感じて過ごせるよう配慮している。また、空調をはじめ、テレビの音量、職員の会話のトーン等にも細かな配慮を行い、利用者が居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者は本人の使い慣れた物や思い出の品、家族の写真などを自由に持ち込み、思い思いに過ごしている。</p>		

 は、重点項目。